Research

ChatGPT等の生成AIに関するアンケート

昨今、生成AI（Generative AI）の活用が話題となっている。

生成AIとは、大量のデータを学習して、文章や画像、音声などを自動で生成できる人工知能のこと。アメリカのOpenAIが開発したChatGPTがその代表例で、MicrosoftやGoogleも提供を始めている。誰もが気軽に活用できる状況となる中で、児童・生徒の発達や学校教育に及ぼす影響を懸念する声も挙がっている。

そうした状況の中で、教育関係者の方々は生成AIの活用などについてどのようにお考えなのか。河合塾では５月にWebアンケート（無記名）を実施した。

アンケート回答数は139件で、その内訳は高校・中等教育学校教職員75件、大学教職員40件、企業10件、その他14件である。回答者の約３分の２が生成AIを活用したことが「ある」、約３分の１が「ない」と回答した<グラフ１>。

生徒や学生が生成AIを学習に利用することについては、約半数が「一部制限を設けるべき」と回答<グラフ２>。「その他」も多くは制限の内容を記載する回答だった。

生徒・学生に使わせる理由としては以下のようなものが挙がる。

・使う場面によっては有用
・これからの社会で必須になる技術である
・制限・禁止のしようがない

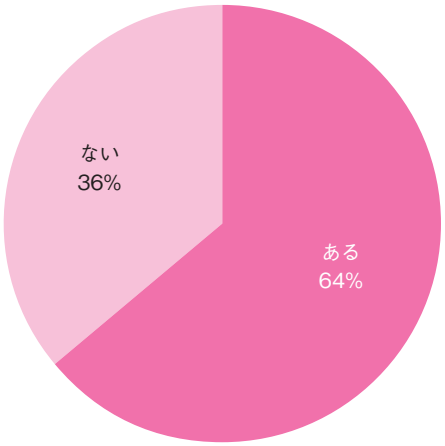
一方、「制限」「禁止」とする理由としては、以下のような懸念が挙がる。

・自ら考える力や創造性の低下
・個人情報流出や著作権侵害
・情報リテラシーの欠如

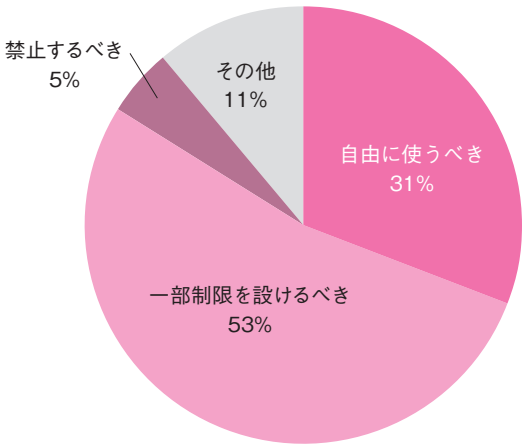
所属先の学校や企業等で生成AIの利用に関する指針が「出ている」とした割合は、高校・中等教育学校で１割、大学では３割と、大学でやや先行している。

文部科学省も、生成AIの学校現場での利用に関するガイドラインを、夏前を目安に公表するとしている(注)。高校では、こうしたガイドライン等も参照しながら、校内ルールを整えていくことになるだろう。今後の検討状況に注目したい。

グラフ１ 生成AIの利用 (n=139)



グラフ２ 生徒・学生の生成AIの利用 (n=139)



結果の詳細は「Kei-Net Plus 教育関係者のための情報サイト」を参照
（www.keinet.ne.jp/teacher/research/）

(注)中央教育審議会初等中等教育分科会デジタル学習基盤特別委員会（第１回）資料より

生徒・学生に生成AIを活用させる理由

使う場面によっては有用

◆誤った情報はインターネット上に既に氾濫しており、そこから正しい知識等を探索することも学習の一端と考えられる。自

◆使用するAIの特徴を踏まえた上で、活用の場面を検討すると、学習に活かせる可能性もあると思われる。 制

◆教科や科目の特性による。探究では大いに使用すべき。制

◆単純作業には利用価値がありますが、調べて、考え、答えを導く過程は教育上省くべきではないと考えます。制

これからの社会で必須になる技術

◆使い方を学ばせるべきである。AIの活用は現代人に必須になりつつある。自

◆ChatGPTを使いこなせない学生は、自身の強みや弱みを理解するチャンスを逸してしまう。自

◆世の中の新しい道具は、中高生時代に触れ、失敗しても学校・教員が守れる時期に、様々、触れさせたい。自

制限・禁止のしようがない

◆制限を設けても使用はするだろう。それよりも自身の能力だけでは限界のあるところを、生成AIを使用することでさらにいいものができあがるのであればいいのだと思う。教育の場であれば、使わせないのではなくむしろどのように使えばいいのかを指導すべきなのではと考える。自

◆禁止しようとしても、マイクロソフトオフィスやBing、Google検索に組み込まれようとしている現在では、禁止するのは不可能。それよりはうまい利用の仕方と、教員・学校側の対応を考えた方が現実的。自

◆全面禁止しても使う生徒は出てくるだろうし、何らかのルールの下で使わせる方が情報リテラシーの力も身につくのではないかと考えるため。制

生徒・学生が生成AIを活用するうえでの懸念

自ら考える力や創造性の低下への懸念

◆自分で文章を書いたり作品を創造する過程において、悩んだり熟考する過程も必要であると考える。中高生は忙しく、時間がないこともあり、AIの力を使ってその場しのぎの制作になることは望ましくない。制

◆自分自身の言葉で表すべき時に、参考にするまでは良いかと思うが、丸写しにしてしまうことは良くない。制

◆高校生は自らの創造性を育む時期で、安易に頼るべきではない。禁

◆何かを調べるきっかけに使うのは、効率化の面でもいいと思うが、それが無批判に正しいと思うのはおかしいので、そのまま使うのではなく必ず自分で後付けをするなどの使い方が必要。制

◆自分で調べたり、考えたりという、学習の基本となる態度が身につかない。制

◆正しい文章の書き方や、適切な物事の思考法を知った上で活用するなら大いに賛成したいが、そもそも文章を正しく書くことができない生徒が多いのにこのようなツールを使わせてしまうと、自分で思考する力が弱くなり、課題解決力や文章作成能力などが低下していく懸念がある。制

◆レポート課題等については、最初から生成AIを使用して作成することは禁止すべきだと考えるため。ただし、生成AIを全く禁止するのではなく、どのようなメリット・デメリットがあるのかを検討し、賢く使えるようになることは今後必要だと考える。制

◆見解を述べるなど、自らの意見や感想を述べる際にAIの回答をそのまま用いることは剽窃ととらえるべき。制

個人情報流出や著作権侵害への懸念

◆個人情報の流出やAIの学習に使用される資料の著作権に懸念がある。制

◆剽窃防止、著作権等への配慮。制

情報リテラシー教育の必要性

◆禁止しても生徒は使うので、使う目的とその効能、デメリットを明確な事例を提示しながら使わせたい。AIが生成する絵や画像、文章の適合性を見極める力も必要になるので、それも育成するように生徒を指導したい。制

◆AIが正しい答えをだすとは限らないので、判断する能力や知識を持たない人には制限が必要だと思う。誤った情報や答えを全面的に信じきってしまうから危険だと思います。制

◆回答等を鵜呑みにしないこと、安易に他者に広げないこと、他の手段で調べたことと比較検証する作業を加えることなどを経るようにすれば、使用してもよいのではないかと考える。そのためには、一定の批判的能力を持ち合わせ、また検証作業を厭わない姿勢が求められるのではないか。ある程度の年齢、学年以上が望ましいと考える。他

自：自由に使うべき　制：一部制限を設けるべき
禁：禁止するべき　他：その他